

## 中野市の農産物・情報発信拠点「Na-ハーベスト」運営事業 (Na-ハーベスト有限責任事業組合)

### 取組に至る背景・事業の目的

平成 20 年より中野市に委嘱され「中野市農業観光応援隊」として都市部での中野市のPRや農産物の消費拡大に努め、24 年度に神奈川県藤沢市にアンテナショップ「Na-ハーベスト」を開店し、中野市の農産物の販売等を行ってきた。

27 年度には中野市の農家 8 軒、藤沢市の協力者 2 名で出資した有限責任事業組合を立上げ、農産物を販売するほか、都市と農村に暮らす人のコミュニケーションを図る情報発信の拠点とし、温かみのあるアンテナショップを目指している。

### 事業内容

1. 夏場の農産物の劣化を防ぐために冷蔵庫、ショーケース付き冷蔵庫を設置した。
2. 農産物販売をはじめ、贈答品、宅配、ケータリング、イベント出店のほか田植えや収穫祭りなどへ参加した。
3. 桃、りんご、新そばなどの販売に加え、おやき作りや味噌作り講習会の開催等、時宜をとらえて藤沢市へ出向き消費者と交流した。
4. 各事業開催にあたりチラシを作成し、手渡しで配布したほか、フェイスブックなど SNS による発信に力を入れた。
5. 藤沢市に 1 軒家を借り、食に関するワークショップ等を開催した。



【 Na-ハーベスト店内 】

### 事業効果

- 冷蔵庫を入れたことにより、商品の劣化を防ぎ店への信頼を保つことができた。
- 消費者との交流を重ねることにより中野市及び北信州を身近に感じてもらえる人が増えた。また、チラシを手渡し配布するほかフェイスブックなど SNS を積極的に利用し集客につなげた。

### 工夫・苦勞した点、課題、今後の取組など

組合を設立したため、更なる団結と責任感が生まれた。月 1 回のペースで藤沢市のメンバーが中野市に足を運び農産物の生産現場等取材し、ワークショップの開催などを通じ中野市を印象付ける取組をした。輸送費、農産物発送に係る手続き等のスリム化、移動販売手段の確保などの課題があるが、都市と農村をつなぐ様々なイベント等を企画し、中野市のブランド化及び北信州への誘客を図りたい。

今後は農産物だけでなく惣菜・菓子の製造販売拠点や、中野市での交流受け入れ拠点づくりにも取り組んでいきたい。

#### 【選定のポイント】

アンテナショップにおける農産物や加工品の販売に留まらず、中野市からはそば打ちや味噌作りのため出向き、藤沢市からは田植えなどの農業体験に親子連れで参加するなど、都市と農村の交流に積極的に取り組んでいる。また、古民家を借りて食に関する勉強会等を行うなど、様々な視点で消費者と農家をつないでいることは高く評価できる。

団体名	Na-ハーベスト有限責任事業組合	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先	0269-26-7444	事業費	1, 701, 314円
ホームページ	<a href="http://www.na-harvest.com/">http://www.na-harvest.com/</a>	支援金額	1, 154, 000円